



[Home](#)

[About](#)

[Bank](#)

[Contact](#)

ロータリー米山奨学金卓話

大分大学 経済学研究科 葛菲

2025.09.05

目録

01

私のルーツ 出身地の紹介

02

日本で幸せなこと

03

修士論文についてのこと

04

米山奨学金への感謝

05

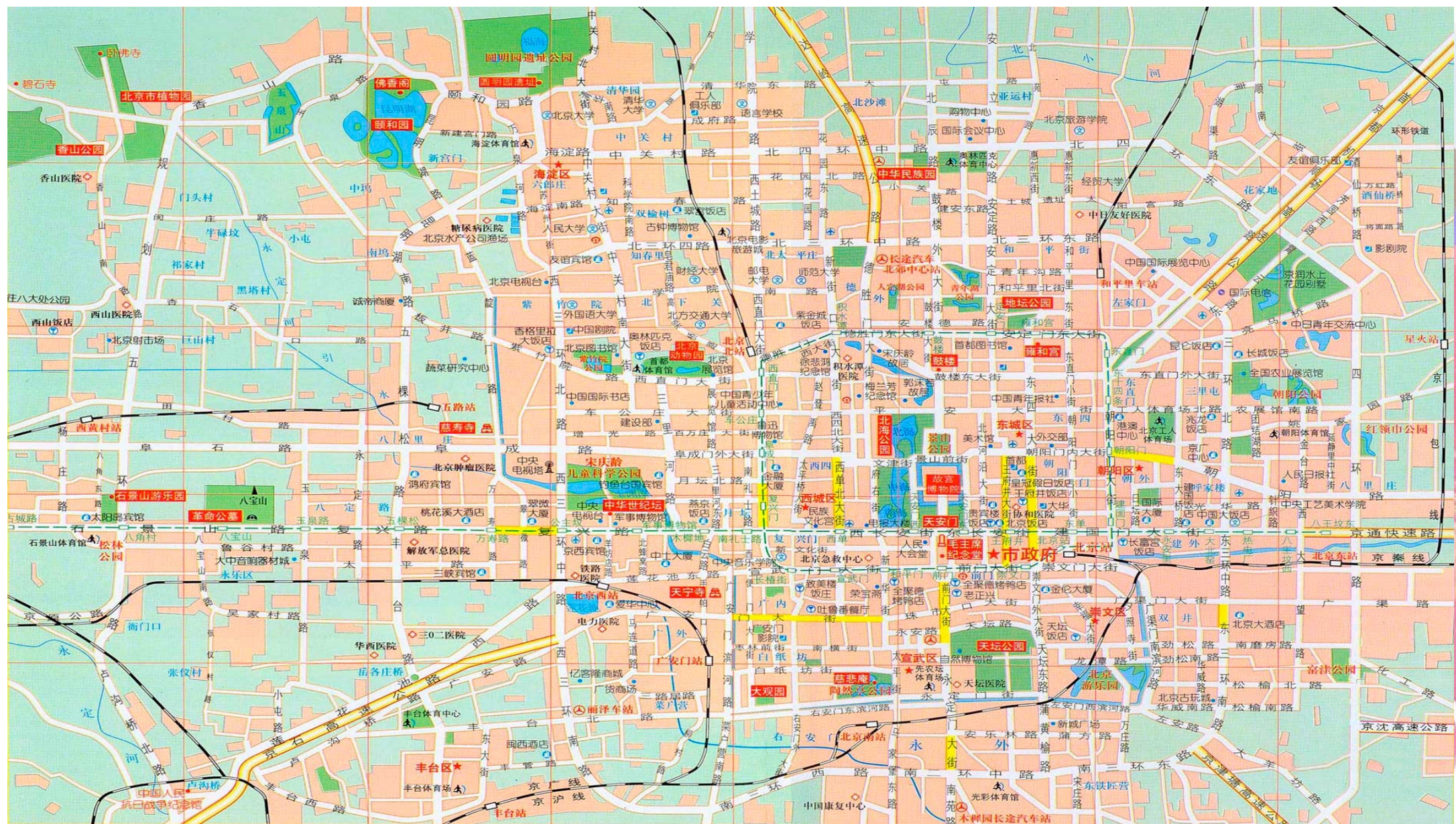
未来へのかけ橋



PART 01

私のルーツ 出身地の紹介





北京(70件)

房山雲居寺	蟠龍山長城	臥虎山長城
白塔寺	中山公園	故宮(紫禁城)
首都博物館	明の十三陵	北京動物園
大観園	黃崖関長城	北京胡同
百腦匯	北京警察博物館	北京首都博物館
北京蠟人形館	王府井	地壇公園
北京八大処公園(西山)	北京天文台	中国科技館
司馬台長城	金山嶺長城	古北口長城
秀水街	オリンピック村	琉璃廠
天安門広場	石花洞	世界公園
恭王府	潭柘寺	蘇州街
仏香閣	徳和園	清東陵
戒台寺	白雲觀	周口店の北京原人遺跡
旧湖広会館	北京老舍茶館	中国歴史博物館
天安門城樓	人民大会堂	龍慶峽
盧溝橋	孔廟	北京円明園
景山公園	北海公園	中国歴史革命博物館
中央電視塔	中華民族園	中華世紀壇
鐘鼓樓	北京大鐘寺	碧雲寺
香山公園	長陵	定陵
慕田峪長城	居庸関長城	鍾表館
珍宝館	雍和宮	梨園京劇
神道	天壇公園	頤「イ」和園
万里の長城		

門頭溝(1件)

潭柘寺

万里の長城



中国語名:
万里长城(wàn lǐ cháng chéng)

中国語名の読み方:
ワン リー チャン チョン

英語名:
The Great Wall

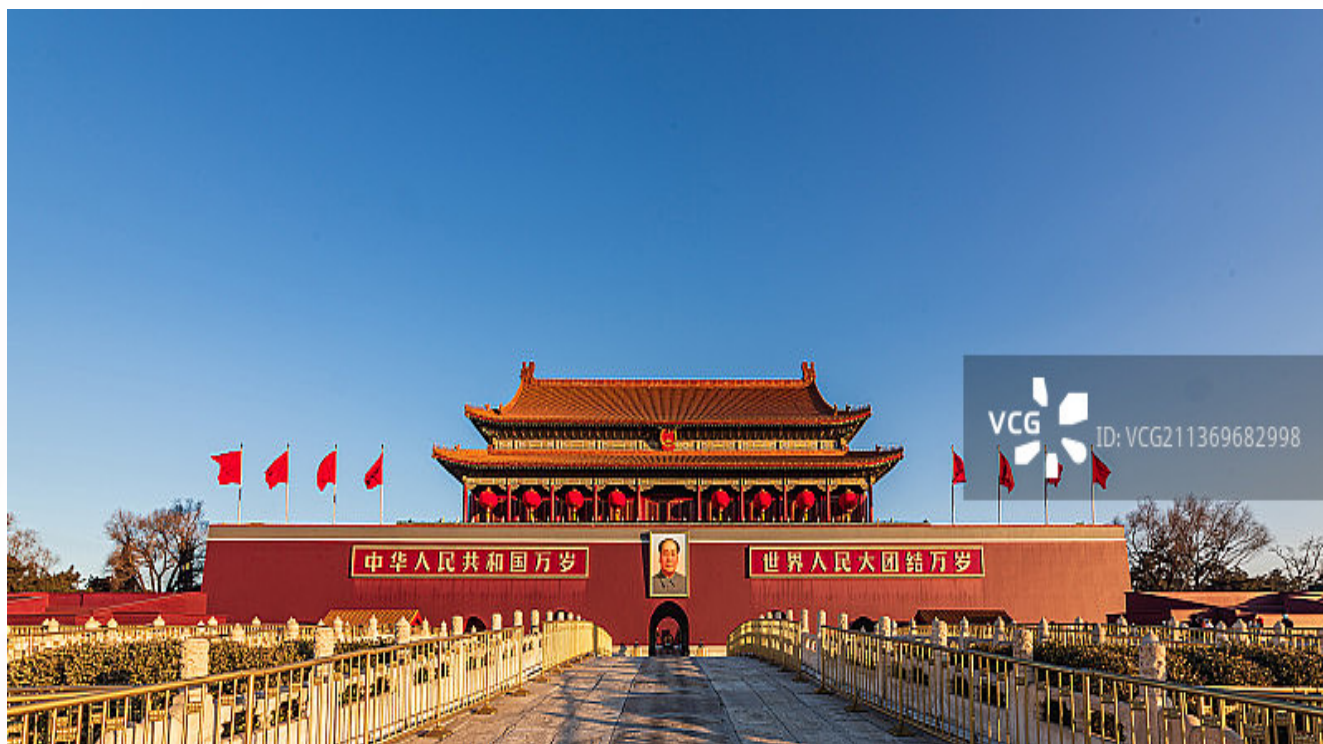
万里の長城

1987年に世界遺産に登録された長城は、「月から見える唯一の建造物」といわれる世界最大の建築物である。東は渤海湾の山海関から、西は甘粛省の嘉峪関まで、全長6,000キロメートルに及び、中国大陆の北部山岳地帯を東西に横切って造られた城壁である。紀元前500年頃、周時代に北方の遊牧民族の侵入を防ぐために築かれたのが始まる。その後、秦の始皇帝が30万の軍兵と農民数百万人を動員し、現在の長城の原型を造った。歴代王朝もたびたび補強、増築を繰り返し、今日の姿になった。

長城は中国北部に位置し、東は山海関、西は嘉峪関まで続く。明の時代に大規模な修築が行われ、現在私たちが見ている長城の多くはその時代のものである。長城は単なる城壁ではなく、城壁、障害物、敵楼、烽火台、関門、砦、そして烽火台などからなる複合的な防御体系である。その総長は21,196.18キロメートルにも及び、中国でも世界でも最も壮大な建造物の一つとして知られている。

長城は中国の歴史と文化の象徴であり、多くの文人墨客の絶賛の対象となっている。その雄大な姿は、中国の自然の美しさと古代の技術の高さを体現している。また、長城は中華民族の自強不息の精神と団結力、そして不屈の愛国心を象徴し、中華文明の重要な象徴となっている。

天安門広場



中国語名:

天安门广场(tiān ān mén guǎng chǎng)

中国語名の読み方:

ティエン アン メン グァン チャン

英語名:

The Tiananmen Square

天安門広場

天安門広場は北京市中心部に位置し、南北880メートル、東西500メートル、総面積約44万平方メートルの世界最大の広場である。広場には50センチ四方の花崗岩の敷石が敷き詰められており、多くの人々が一度に整列できるように行列番号がふられている。1949年の建国式典の際、広場として整備され、1959年に建国10周年を記念して50万人が集える広場に拡張された。

広場の周辺には、人民英雄記念碑、人民大会堂、中国国家博物館（中国革命博物館と中国歴史博物館が統合されたもの）、毛主席記念堂など重要な建造物が立ち並んでおり、これらの施設は広場をコの字型に囲っている。



故宮(紫禁城)



中国語名:
故宮(gù gōng)

中国語名の読み方:
グウ ゴン

英語名:
Forbiddencity

故宮(紫禁城)

北京の故宮は、旧市街のほぼ中央に位置する紫禁城のことで、明・清両代の宮城として約490年間、24人の皇帝の居城となった。その歴史と文化的な価値から、1961年に中華人民共和国国務院によって全国初の「重点文物保护单位」の一つに指定され、さらに1987年にはユネスコの世界遺産に登録された。

故宮は、元の宮城跡に明の成祖永楽帝が1420年（永楽18年）に竣工させたもので、明末に大破壊を受けた後、清朝がその規模を引き継いで復興し、今日に至っている。紫禁城は南北960メートル、東西760メートル（約72万平方メートル）の広大な敷地に、高さ10メートルの厚い城壁で囲まれ、四隅に角楼が設けられ、外側には幅50メートル以上の堀がめぐらされている。城内には9000近くの部屋があり、明代には9000人の宮女と10万人の宦官が住んでいたとされている。

故宮の建物は、南北に通る中軸線に沿って左右対称に配置され、赤い壁と黄色の瓦が特徴的な壮麗な建築様式を誇る。朝日や夕暮れ時の故宮は、まるで幻想的な世界のように、訪れる人々を魅了する。

故宮は「前朝」と「後寝」の二つの部分に分かれている。「前朝」は太和殿、中和殿、保和殿を中心とし、皇帝が国家の行事や政治活動を行う場所である。一方、「後寝」は乾清宮、交泰殿、坤寧宮、東西六宮、御花園を中心とし、皇帝と后妃たちが居住し、宗教活動や日常の政務を行う場所となっている。

故宮は、封建帝王の最高の権威を象徴する建築群であり、その配置と設計は封建的礼制に基づいている。昔は、民衆が紫禁城に近づくことさえ許されませんが、現在は世界中の観光客が訪れることができるようになった。

香山公園



中国語名: 香山公園(xiāng shān gōng yuán)
中国語名の読み方: シアン シャン ゴン ユェン
英語名: Xiangshan Park



香山公園

香山公園は、北京市中心部から約20km離れた西北郊外に位置し、北京西山山嶺の一つで、美しい山林公園である。1186年に建造され、金朝時代の皇帝の行宮とされた。その後、歴代の皇帝もここに離宮別院を修築した。美しい景色は、四季折々の姿が楽しめ、春のピクニック、夏のキャンプや避暑、秋の紅葉狩り、冬の雪景色を楽しむ絶好の地である。

香山公園は中国で最も有名な紅葉の名所の一つであり、北京で秋の景色が一番美しいとされている。清の乾隆帝の時代に植えられた楓は、200年余り経った現在、99000株の規模になり、10月中旬から11月上旬にかけて山一面に紅い絨毯が敷かれたようになる。頂上の香爐峰からは、公園全体が見渡せる。

見所には、香炉峰、双清別墅、紅葉、眼鏡湖、香山寺、西山晴雪、玉華山荘、瑠璃塔、見心斎、昭廟、芙蓉館などがある。





内蒙古自治区在祖国的地理位置

内蒙古自治区概况

内蒙古自治区位于祖国北部边疆,东经 $97^{\circ}10'$ — $126^{\circ}09'$ 北纬 $37^{\circ}24'$ — $53^{\circ}20'$ 之间,呈东北、西南向的狭长地带,直线距离东西约2400千米,南北约1700千米,东与黑龙江、吉林、辽宁三省接壤,南与河北、山西、陕西三省和宁夏回族自治区相连,西与甘肃省为邻,北与俄罗斯、蒙古国交界。面积110多万平方千米,是中国第三大省区。

内蒙古自治区成立于一九四七年五月一日,是我国成立最早的少数民族自治区。现辖3个盟、9个地级市、11个县级市、17个县、49个旗、3个自治旗、21个市辖区(1个矿区)。呼和浩特市是自治区的首府,是全区政治、经济、文化、教育的中心。

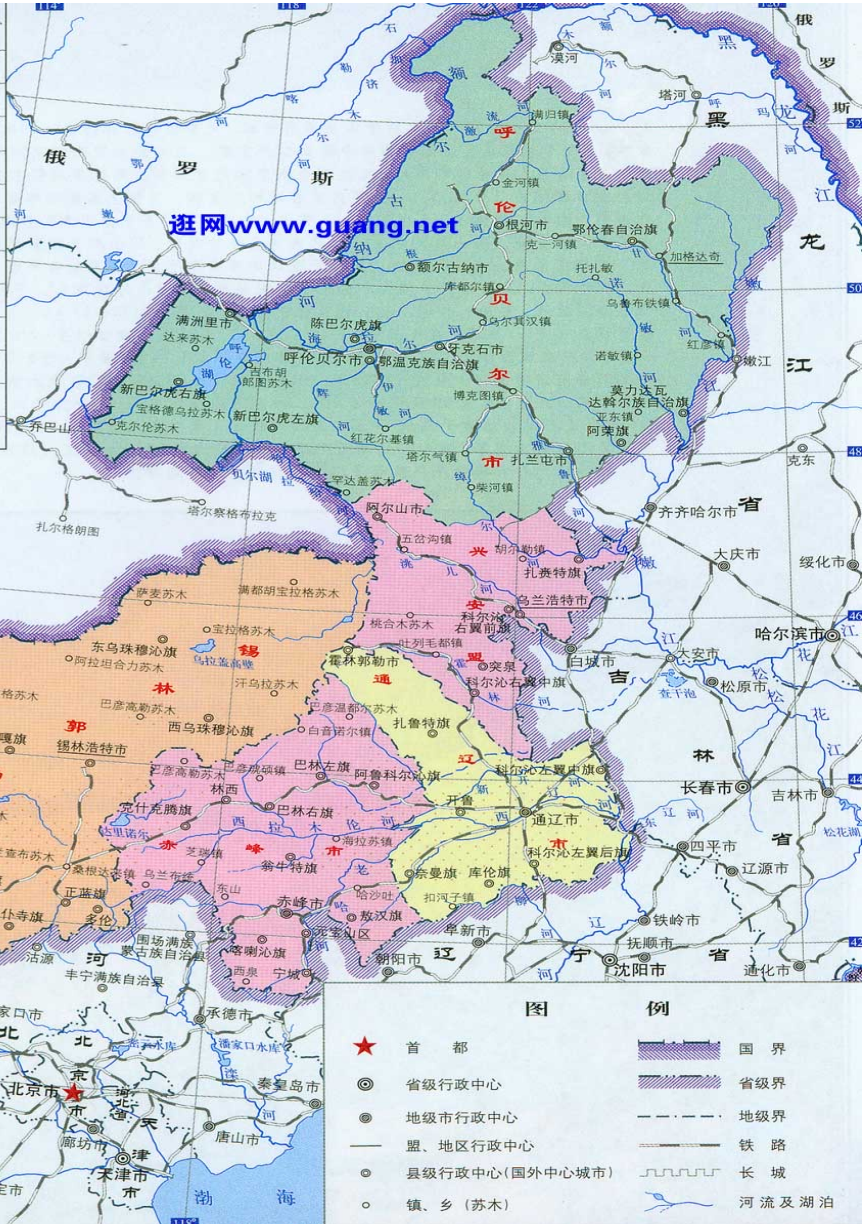
内蒙古自治区是个多民族的自治区,由汉、蒙古、满、回、达斡尔、鄂温克、鄂伦春、朝鲜、俄罗斯等多个民族组成。人口约2350万。

内蒙古自治区拥有丰富的自然资源和良好的自然环境,素有“东林西牧、南农北牧、遍地宝藏、草原秀丽”之美称。

内蒙古自治区经过五十多年的建设,社会经济发生了翻天覆地的变化,特别是改革开放以来,国民经济发展跨入了一个崭新时期,取得了令人瞩目的成就。

内蒙古自治区行政区划统计表

全区总计	3盟, 9地级市, 11县级市, 17县, 49旗, 3自治旗, 21市辖区
呼和浩特市 (驻新城区)	4市辖区, 1旗, 4县
包头市 (驻昆都仑区)	6市辖区, 2旗, 1县
呼伦贝尔市 (驻海拉尔区)	1市辖区, 5县级市, 4旗, 3自治旗
兴安盟 (驻乌兰浩特市)	2县级市, 3旗, 1县
通辽市 (驻科尔沁区)	1市辖区, 1县级市, 5旗, 1县
赤峰市 (驻红山区)	3市辖区, 7旗, 2县
锡林郭勒盟 (驻锡林浩特市)	2县级市, 9旗, 1县
乌兰察布市 (驻集宁区)	1市辖区, 1县级市, 4旗, 5县
鄂尔多斯市 (驻东胜区)	1市辖区, 7旗
巴彦淖尔市	1市辖区, 4旗, 2县
乌海市	3市辖区
阿拉善盟 (驻阿拉善右旗)	3旗



图例

- ★ 首都
- ◎ 省级行政中心
- 地级市行政中心
- 县级行政中心(国外中心城市)
- 镇、乡(苏木)
- 国界
- 省级界
- 地级界
- 铁路
- 长城
- 河流及湖泊

■ フフホト(13件)

綏遠城將軍衙署	万部室巖經場	清真大寺
フフホト(呼和浩特)博物館	希拉穆仁草原(シラムレン草原)	格根塔拉草原(ググンタラ草原)
五塔寺	内蒙古博物館	大召
席力图召	昭君墓	響沙湾
チンギスカン陵		

■ 包頭(3件)

チンギスハン陵	美岱召	五当召
---------	-----	-----

■ 滿洲里(3件)

滿洲里套娃広場	滿洲里中蒙国門	源代古城遺跡
---------	---------	--------

■ 二连(2件)

国門(中蒙国境)	足能博物館
----------	-------

■ ハイラル(3件)

旧日本軍地下要塞跡	ロシア芸術博物館	ハイラル国家森林公園
-----------	----------	------------

■ 鄂尔多斯(2件)

クブチ(庫布齊)	百眼泉
----------	-----

■ 赤峰(3件)

喀拉沁親王府博物館	阿斯哈图石林	玉龍沙湖
-----------	--------	------

■ 呼倫貝爾(3件)

金帳汗草原	諾門罕(ノモンハン)遺跡	呼倫湖(フロン湖)遠賀湖
-------	--------------	--------------

■ 烏蘭察布(5件)

和林格爾漢景壁面	元趙王城遺跡	和林格爾漢景壁面
百靈廟	格根塔拉草原(オールドス草原)	

■ 巴彥卓爾(1件)

陰山岩画

■ 阿爾山(9件)

白狼林俗博物館	白狼林俗村	乾坤道天地
杜鵑湖	石塘林	三潭映
ホロンバイルの七仙湖草原	アルシャン国家森林公園	アルシャン五果泉

■ 西ウジュームチン旗(1件)

西ウズムチン大草原

■ シリンホト(3件)

平頂山	蒙元博物館	貝子庙
-----	-------	-----

■ アラシャン右旗(3件)

トングリ砂漠	ウランブハ砂漠	巴丹吉林砂漠(バダインジャラン砂漠)
--------	---------	--------------------

■ アラシャン左旗(1件)

南寺

■ 正藍旗(1件)

元上都遺跡

■ シリンゴト(2件)

トールン(多倫)湖	正藍旗
-----------	-----

チンギス칸陵



中国語名: 成吉思汗寝宮(chéng jí sī hàn qǐn gōng)
中国語名の読み方: チョン ジー スー ハン チン ゴン
英語名: Genghis Khan Mausoleum



チンギスカン陵

チンギスカン陵は、モンゴルの英雄の陵墓である。

チンギス・カン（1162年頃? - 1227年8月18日）は、モンゴル帝国の初代皇帝（大ハーン）（在位1206年 - 1227年）。一代で大小さまざまな集団に分かれてお互いに抗争していたモンゴルの遊牧民諸部族を統一し、中国北部、中央アジア、イランなどを次々に征服してモンゴル帝国を築き上げた。その帝国がチンギスの死後百数十年を経て解体した後も、その影響は中央ユーラシアにおいて生き続け、遊牧民の偉大な英雄としてチンギスは賞賛された。



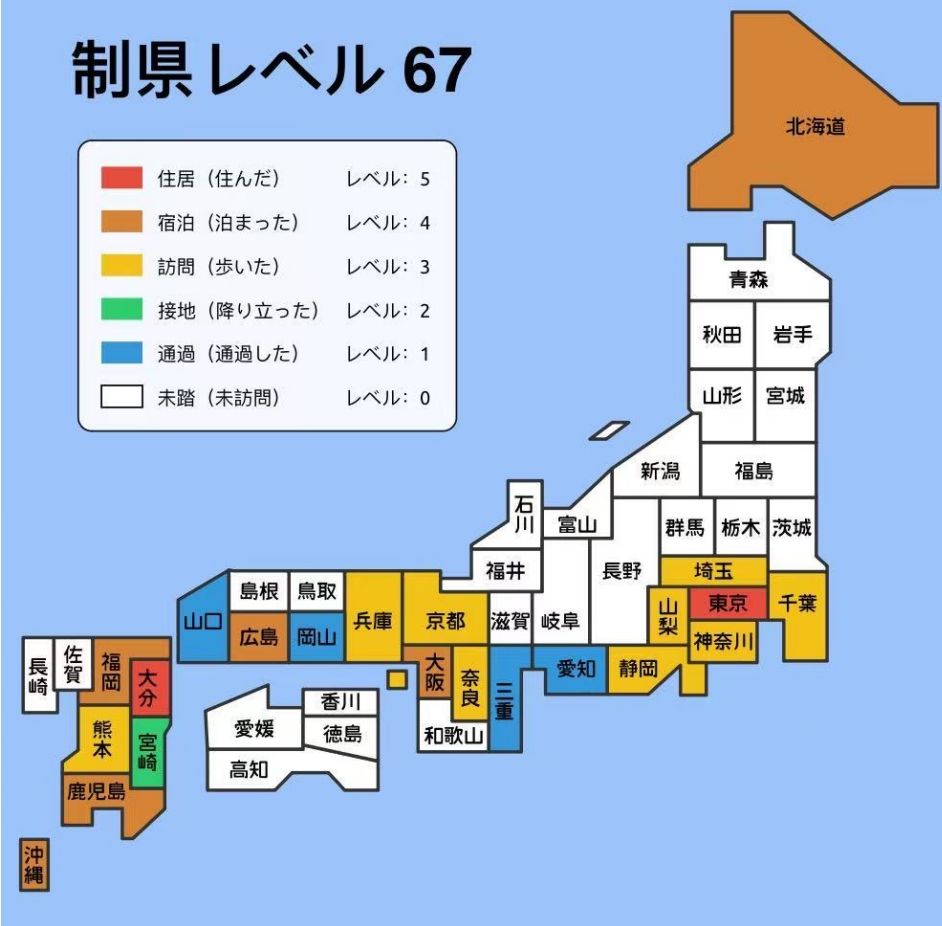


PART 02

日本で幸せなこと

旅行した場所

制県レベル 67



出所: <https://zhung.com.tw/japanex/>

東京



PART 03

修士論文の紹介

日中の大学生の起業に関する
比較研究-大分大学と北京林業
大学を事例として

1. 研究の背景

21世紀に入り、グローバル化と技術進歩が急速に進展し、起業は経済成長と社会発展の主要な推進力となっている。デジタル革命とインターネットの普及により、新しいビジネスモデルやサービスが次々と誕生し、起業環境はますます多様化・複雑化している。特にテクノロジー起業、グリーン起業、ソーシャル起業などの分野で、革新的なスタートアップが数多く生まれ、経済の活性化や新しい雇用創出に寄与している。

大学生は、新しいアイデアや技術を積極的に取り入れることができる世代であり、起業の重要な推進力となっている。大学生の起業は、彼らの創造性と革新能力を引き出すだけでなく、社会に新たな価値を提供する機会をもたらす。また、大学生が起業することにより、彼ら自身のキャリアパスが多様化し、雇用機会が増加することも期待されている。このため、多くの国々では大学生の起業を奨励し、支援する政策やプログラムが導入されている。

日本と中国は、アジアにおける主要な経済大国であり、大学生起業は両国の経済発展にとって重要な要素となっている。日本は、高度な技術力と堅固な産業基盤を有しており、起業エコシステムが比較的整っている。中国政府は「双創」戦略（大衆創業、万衆革新）を推進し、大学生の起業を強力に支援している。

2. 研究の目的

本研究では、文献分析、ケーススタディ、アンケート調査などの方法を通じて、日本と中国の大学生起業の異同を深く探究し、両国の政策支援、起業教育、社会文化などが起業に影響する要因を分析する。

また、日中の大学生の起業について比較研究を行い、両国の政府と教育機関に対し、起業環境の最適化と起業教育の質向上に関する提言を行い、大学生の起業の持続可能な発展とイノベーションを推進することを目指す。

3. 論文の構成

はじめに

第1章 日本と中国における大学生起業の現状

- 1.1 日本における大学生起業の現状
- 1.2 中国における大学生起業の現状
- 1.3 国際視点から日中の起業の現状

第2章 両国の政策支援

- 2.1 日本における大学生起業政策
- 2.2 中国における大学生起業政策
- 2.3 両国における起業政策の共通点と相違点

第3章 両国の政策教育

- 3.1 カリキュラムの設計
- 3.2 教員育成
- 3.3 実施方式
- 3.4 組織的支援

第4章 具体的な事例

- 4.1 日本の事例
- 4.2 中国の事例

第5章 大分大学と北京林業大学をとしたアンケート

- 5.1 アンケート調査の概要
- 5.2 アンケート調査の方法
- 5.3 アンケート調査の結果
- 5.4 日本人学生と中国人留学生の起業家精神の違い
 - 5.4.1 分析概要
 - 5.4.2 平均値の結果
- 5.5 多変量分散分析からみた男女差
 - 5.5.1 分析概要
 - 5.5.2 日本人学生の男女差
 - 5.5.3 中国人学生の男女差
- 5.6 多変量分散分析からみた文理差
 - 5.6.1 分析概要
 - 5.6.2 日本人学生の文理差
 - 5.6.3 中国人学生の文理差

おわりに

参考文献

4. 論文の結果

本研究では、日本と中国の大学生を対象とした調査結果を基に、起業意識や起業教育、制度認知度等の特徴を比較分析した。その結果、両国の大学生は起業教育や制度の重要性を高く評価している一方で、制度の認知度や実際の活用度には依然として大きな課題が存在することが明らかとなった。また、文化的背景や社会的価値観が起業への心理的ハードルや行動選択に大きく影響していることも示唆された。以下では、得られた知見を踏まえた上で、総合的な提言を示す。

第1に、両国共通の課題として、大学生による起業支援は単なる制度整備にとどまらず、制度の存在を広く周知し、学生が実際に活用できるような情報提供体制を強化する必要がある。具体的には、大学・自治体のウェブサイトやSNSを活用した支援策の可視化、キャリアセンターや学内掲示板での継続的な情報発信、成功事例や申請方法の分かりやすい解説などが有効である。

第2に、起業教育は理論知識の習得に加え、実践経験を通じて学生の自信と能力を高める方向に拡充すべきである。たとえば、学内でのビジネスコンテスト、企業との共同プロジェクト、学生ベンチャーへの小規模資金提供、卒業生や現役起業家によるメンタリング制度の構築などが挙げられる。これにより、学生は現実的かつ具体的なキャリアイメージを形成できるようになる。

4. 論文の結果

第3に、文化的背景や社会的価値観の違いが大学生の起業行動に大きく影響している点を踏まえ、各国の状況に即した政策設計と教育プログラムの構築が必要である。特に、日本においては、起業を「失敗してもやり直せる挑戦」として捉える文化の醸成が急務である。このためには、官・産・学の取り組みが不可欠である。学校面では、失敗事例を含めたケーススタディの授業化や、学生が小規模に挑戦できる資金提供制度の設立が有効である。政府面では、若者起業に対する税制優遇や再チャレンジ支援制度（倒産後の債務減免、再起業補助金など）を強化し、規制緩和によって新規参入のハードルを下げるのが望まれる。社会面では、メディアや地域コミュニティを通じて多様な起業家像を発信し、「安定就職＝成功」という固定観念を緩和するとともに、起業を社会貢献や地域活性化の一形態として評価する文化の形成が必要である。一方、中国においては、近年の起業活動の急速な発展が経済の活性化に寄与している反面、倫理的問題や過剰競争、短期的利益追求などの副作用も懸念される。このため、学校面では、起業倫理や持続可能性を重視した教育を導入し、学生が社会的責任を理解した上で事業を設計できる力を育成することが重要である。政府面では、スタートアップ支援と同時に市場監督を強化し、知的財産権保護や公正取引の確保を図るべきである。社会面では、メディアや業界団体が成功例だけでなく、持続的成長や地域社会への貢献を果たす起業家を積極的に紹介することで、健全で長期的な起業文化の形成を促すことが期待される。



PART 04

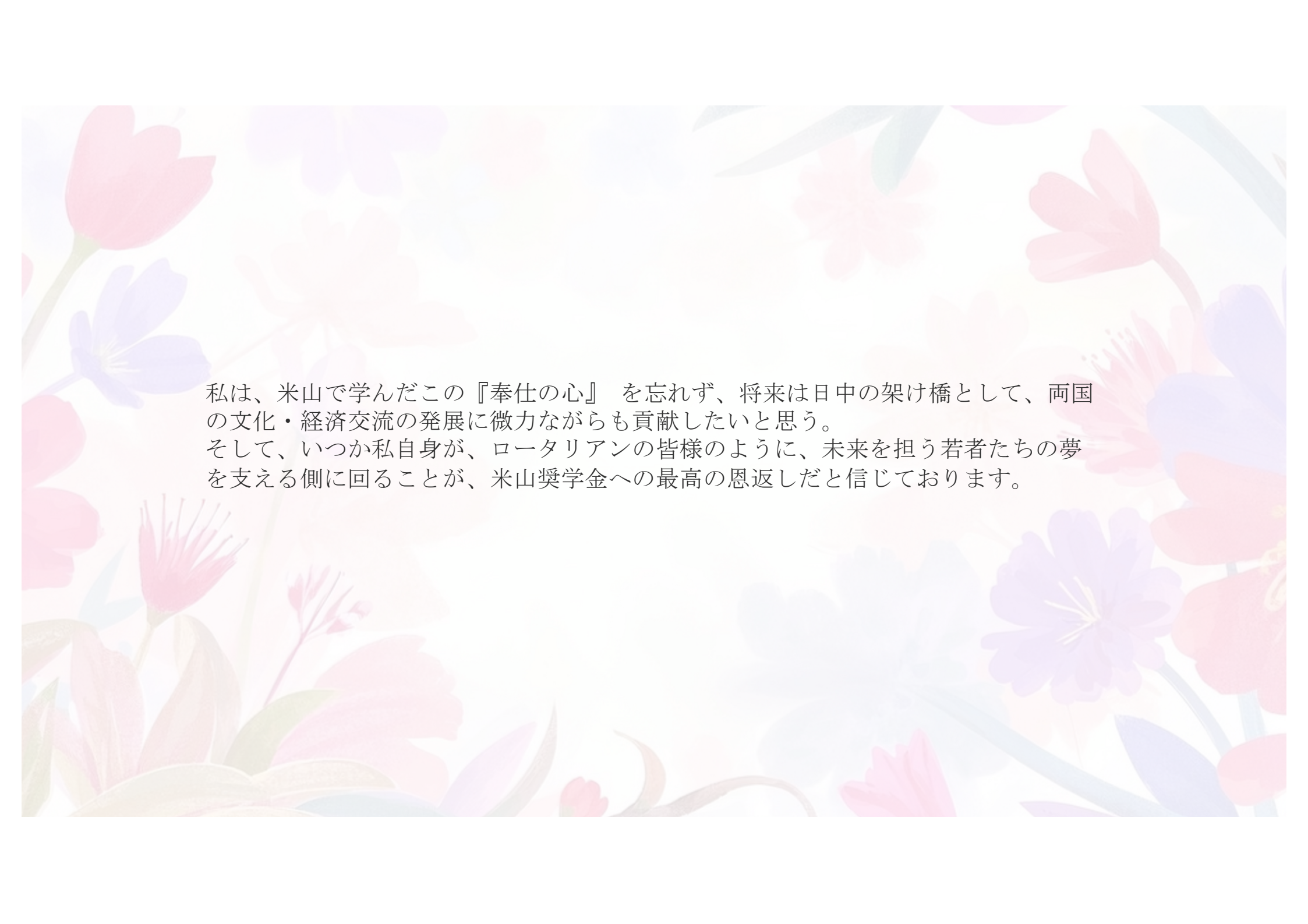
米山奨学金への感謝

1. 経済的支援への感謝：米山奨学金は、私の生活の基盤を根本から支えてくださった。奨学金がなければ、学業と並行して長時間のアルバイトをしなければならない状況である。経済的な不安から解放されたことで、研究に100%集中できる環境を手に入れることができた。米山奨学金は、単なる経済的援助ではなく、私の『自由な時間を追求する』を与えてくれた、かけがえのない存在である。
2. 精神的支援への感謝：この奨学金は、私にとって、私の研究計画と将来の可能性がロータリーの皆様に『認めていただいた』という証明である。このことは、研究が行き詰まった時、異国での生活に疲れた時に、どれほど私を勇気づけ、支えてくれたかわかりません。『米山奨学生』という仲間と出会え、刺激し合い、高め合える関係を築けたことも、大きな心の支えである。孤独になりがちな留学生活の中で、温かい『居場所』と『絆』をいただいた。
3. 人的交流への感謝：米山奨学金の素晴らしさは、経済的支援だけではなく、ロータリアンの皆様との貴重な交流の場を設けていただいている点にあると感じている。ロータリークラブの存在は、私の視野を大きく広げ、将来のキャリアを考える上で、計り知れない影響を与えている。



PART 05

未来へのかけ橋



私は、米山で学んだこの『奉仕の心』を忘れず、将来は日中の架け橋として、両国の文化・経済交流の発展に微力ながらも貢献したいと思う。
そして、いつか私自身が、ロータリアンの皆様のように、未来を担う若者たちの夢を支える側に回ることが、米山奨学金への最高の恩返しだと信じております。



[Home](#)

[About](#)

[Bank](#)

[Contact](#)

ご清聴ありがとうございました